

令和7年度学校評価報告書

令和8年3月24日

北海道教育委員会教育長 様

北海道旭川南高等学校長

次のとおり令和7年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

- 授業改善を図り、生徒の主体的・協働的な学びを促進し、学ぶ意欲と学力向上を図る。
- キャリア意識を高め、主体的に科目選択に努め、進路目標の達成と自己実現を図る。
- 規範意識を高めるとともに、いじめを許さない「命を大切に作る心」の育成を図る。

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	<p>基礎学力の定着と受験に対応した学力を育成するため、習熟度別クラス編成、授業シラバスや学習指導の工夫・改善に努める。</p> <p>○思考力・判断力・表現力を育成するため、「産社」「総学」を活用し、課題研究・学習成果発表の機会を充実するよう努める。</p> <p>○主体的な学習態度を育成するため、あらゆる学習機会を効果的に用いるとともに、模擬試験、資格取得、学校行事、部活動などの機能を活用することに努める。</p>	<p>・自己評価、改善方策について概ね適切である。(4.5/4.5)</p> <p>・習熟度別クラス編成などで、学力不足の生徒、上位層の生徒それぞれにモチベーションを高める工夫をすすめてほしい。</p> <p>・課題研究の取組は探究心を引き出す総合学科ならではの取組と思う。指導は大変だろうが引き続き取り組み、地域への発信も増やしてほしい。</p>
改善方策	<p>・「産社」「総探」の関連性を強め、3年間の計画の見直しをおこなう。</p> <p>・ICTを活用した授業を増やし、主体的な学習態度を育成する。</p>	
生徒指導	<p>生徒指導の機能を高めるため、生徒一人ひとりの状況把握と情報共有を行い、共通認識の下で一貫した生徒指導に努める。</p> <p>○いじめを根絶するため、未然防止に向けた生徒主体の取組を重視するとともに、自己有用感の育成に努める。</p> <p>○遵法精神の育成するため、時間厳守・挨拶・身だしなみを含めた公共マナーなどの基本的な生活習慣の定着を図り、規範意識の醸成に努める。</p>	<p>・自己評価、改善方策について概ね適切である。(4.5/4.3)</p> <p>・見だしなみについて整っているが、社会においても基準が変化しており基準の見直しは続けてほしい。</p> <p>・いじめを考える際にSNS対策は重要であり、取組を続けてほしい。</p> <p>・地域とつながった除雪ボランティアなどは地域連携を考える上でとても良い取組である。</p>
改善方策	<p>・いじめについては面談週間を設定して未然防止に努める。また、ICTを活用したアンケートを実施し早期発見に務める。生徒会執行部よりいじめ防止宣言等の主体的取組を進める。</p> <p>・制服規定などの校内規定の検討を通して規範意識の情勢を図る。</p>	
健康・安全指導	<p>○教育相談の機能を高めるため、SCや専門機関との連携を重視するとともに、特別支援委員会の活動の充実にも努める。</p> <p>○危機管理意識を高めるため、臨場感のある避難訓練やリスクマネジメント・クライシ</p>	<p>・自己評価、改善方策については概ね適切である。(5.0/4.5)</p> <p>・夏の暑さ対策は引き続きお願いする。</p> <p>・スクールカウンセラーの活用に加え作業療法士の活用などができれば総合的観</p>

	スマネジメントの力量を高める校内研修の充実に努める。 ○命を大切にすることを育成するため、分掌、学年、教科、養護教諭が連携し、交通安全、薬物乱用防止、性に関する講演会等を計画的に実施する。	点から生徒の支援がよりできると考える。 ・命を大切にすることを教育、心の教育が一番難しいことだが引き続き取り組んでほしい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・面談週間を実施し生徒の悩みに早期から寄り添う体制を整備する。 ・特別支援委員会を中心に支援の必要な生徒の情報を全教員で共有し、支援計画に基づき支援をおこなう。 ・SOSの出し方講座などを実施し、命を大切にすることを育成を図る。 	
進路指導	<p>キャリア意識を高めるため、大学の最新情報（カリキュラムの特色、学内奨学金制度、就職実績など）の収集と入学試験の傾向等についての情報提供に努める。</p> <p>○系統的な指導のため、年次や教科と連携を図り、模擬試験等を効果的に活用し、進学講習、公務員・就職講習の充実に努める。</p> <p>○望ましい職業観を育成するため、インターンシップ拡充と外部講師講演会など、高大連携を推進するとともに地域人材・資源の効果的活用を努める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価、改善方策については概ね適切である。(4.8/4.8) ・進学だけでなく、就職に向けた指導も充実し、進学・就職共に強い学校を目指してほしい。 ・進学先での学びを体験する講座などをより充実し、生徒のモチベーションを上げるよう取り組んでほしい。 ・卒業生で地域で活躍している方の話しを聞く機会を増やし、地域との関わりについて考える機会を増やしてほしい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・「産社」において地元企業へのフィールドスタディ等の取組を実施し、将来を考える意識の醸成を図る。 ・先輩に聞く、合格者に聞く等、進路に向けた活動を具体的にイメージできるよう指導を行う。 ・計画的に講習や模擬試験を行い、自己の将来に向けて主体的に取り組めるよう働きかけを行う。 	

公表方法	学校HPに掲載 学校評議員及びPTA役員への配布
------	-----------------------------

3 添付資料

自己評価書 保護者アンケート結果 生徒アンケート結果 学校関係者評価書